

近松門左衛門没後300年記念 フォーラム in 尼崎

日時 令和6年12月7日（土曜日）

13:30~16:00（13:00開場）

場所 ピッコロシアター中ホール 尼崎市南塚口町3-17-8

令和6年（2024）は、近松門左衛門没後300年にあたります。日本、さらには世界で愛される近松作品。尼崎市は「近松のまち・あまがさき」として文化振興に取り組んできました。フォーラムでは、近松作品の歴史と現在の意義、また尼崎市の文化振興の歩みなどを振り返りつつ、尼崎市、そして日本が守り伝えるべき伝統文化の「未来」に向けての足がかりを探っていきます。

<申し込み方法>

詳細・応募はこちらから

専用フォームからお名前、電話番号、メールアドレスなどを入力ください。



<参加費>
無料
定員100人
(先着)

12月5日（木）17時まで ただし、定員になり次第、締め切らせていただきます。

問い合わせ先 尼崎市文化振興課 TEL 06-6489-6385 FAX 06-6489-6702

<主催者挨拶> 笠谷和比古（関西楽劇フェスティバル協議会代表幹事）

<報告> 児玉竜一（早稲田大学文学部教授・早稲田大学演劇博物館館長）

佐藤功（元尼崎市立地域研究史料館館長）

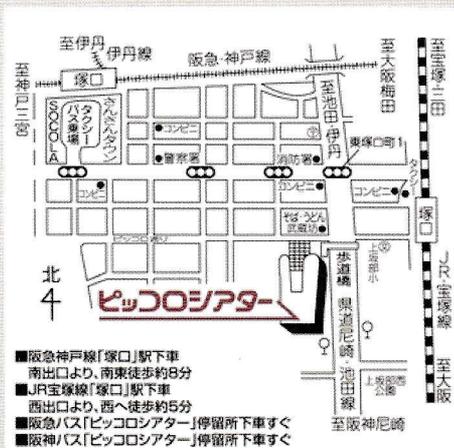
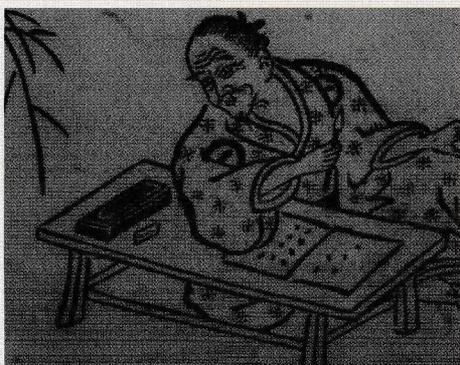
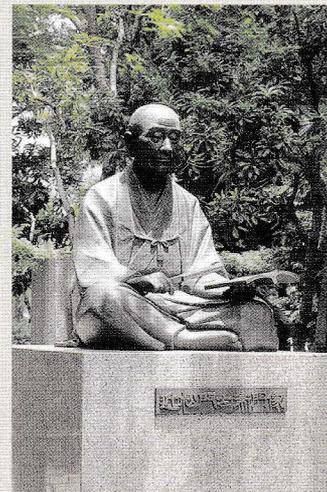
<フォーラム> フォーラム進行：河内厚郎（文化プロデューサー、演劇評論家・書評家）

パネリスト：児玉竜一

漆澤その子（武蔵大学人文学部教授）

河野未央（武庫川女子大学文学部准教授）

<総合司会> 三宅奈緒子



主催 関西楽劇フェスティバル協議会
共催 尼崎市
後援 公益財団法人 兵庫県芸術文化協会

